

第4章 としま未来への戦略プラン

1 戦略プランの位置づけと目的

基本計画との関係

戦略プランは、豊島区の新たな魅力と活力の創造に向け、戦略的かつ横断的な施策展開を促進することにより、『豊島区基本計画』の政策体系に基づく分野別の施策をより効果的に推進していくために、基本計画に基づいて策定するものです。

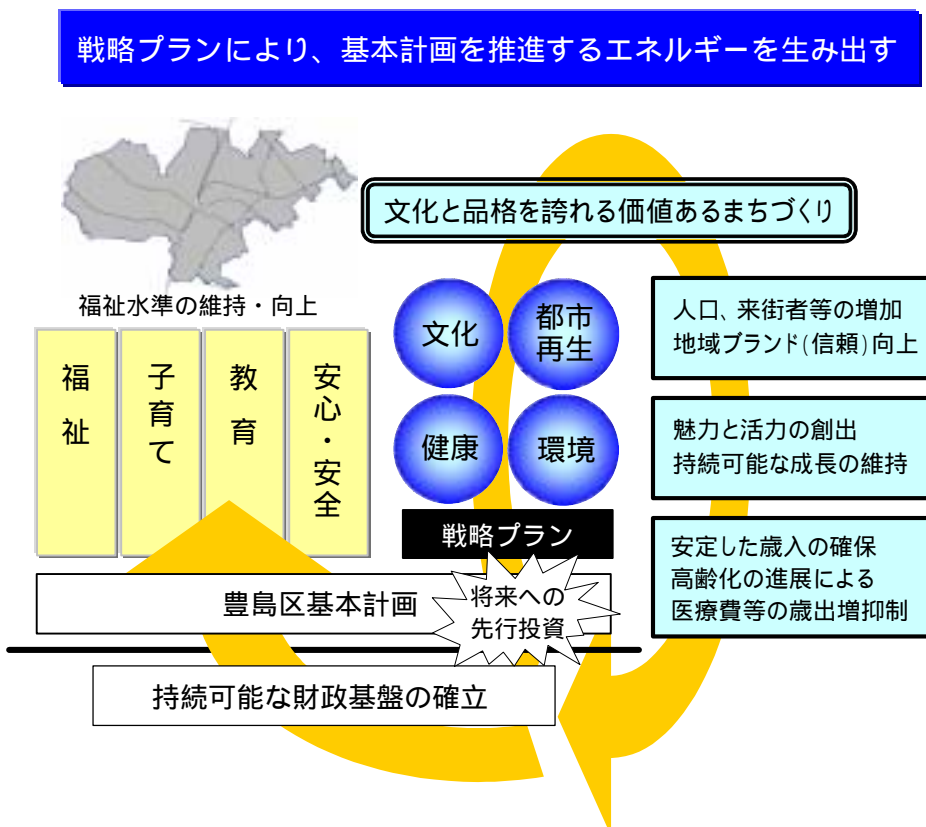
戦略プランの目的

これからは居住の場として、また、経済活動の場として、そして自己実現の場としても、都市や地域が選ばれる時代です。都市間競争が激しさを増すなか、豊島区が、「住みたいまち」、「訪れたいまち」として選ばれていくためには、地域社会が総力を結集して、個性を活かした独自の政策を形成し、魅力あるまちづくりを進めることで、自治体経営の持続可能性に対する信頼を高めていく必要があります。

豊島区に住み、暮らし、働き、学び、活動し、交流していくうえで、地域社会が提供するハード、ソフトの魅力が総合的に将来にわたって持続されるという安心感、その信頼こそが「住みたいまち」、「訪れたいまち」をかたちづくる最も重要な要素となります。

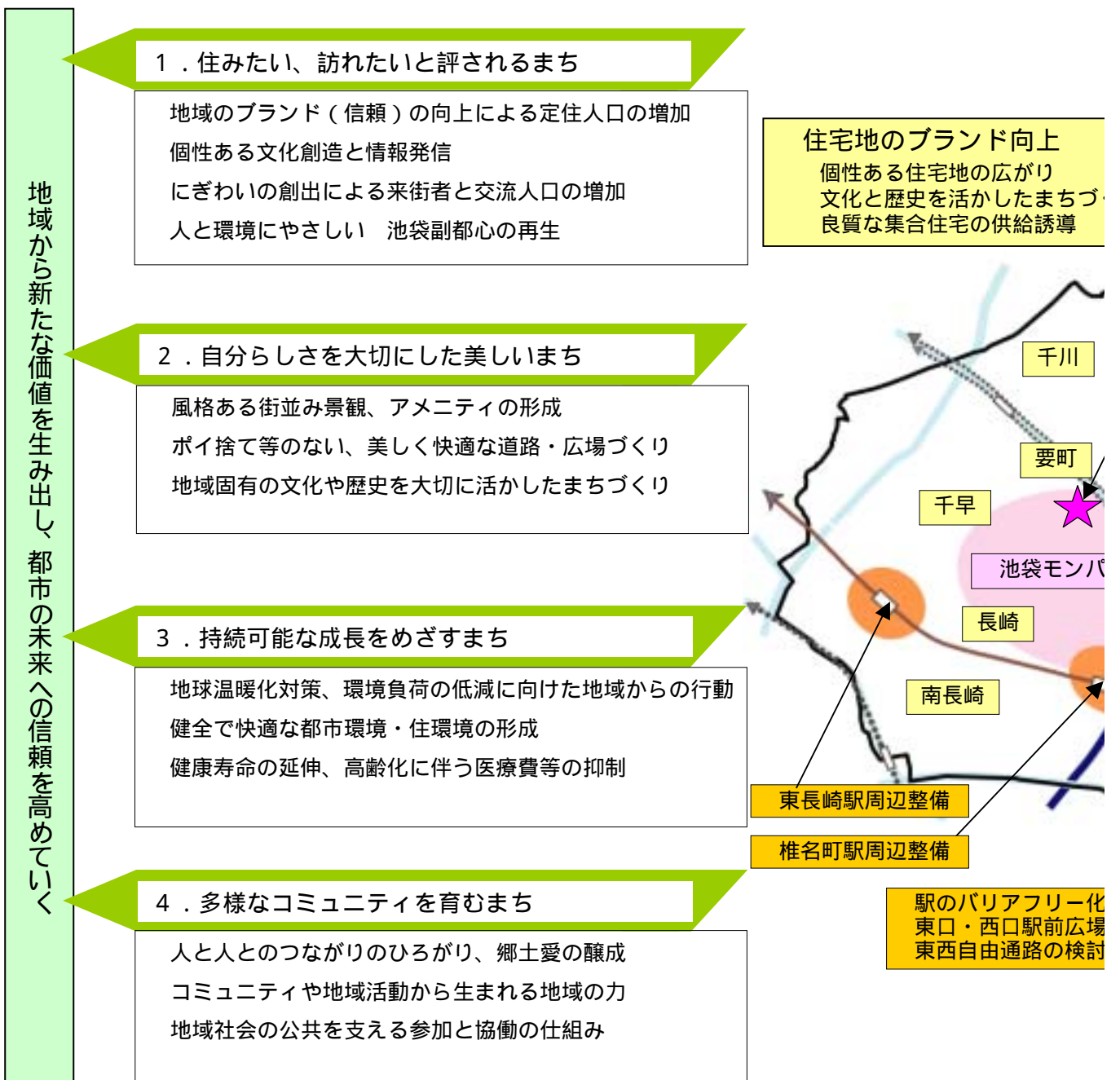
『戦略プラン』は、こうした都市としての信頼（ブランド）を確かなものとしていく、いわば“都市経営に関する戦略”です。今後の少子高齢・低成長社会においても、新たな魅力と活力を創出しながら持続可能な成長を成し遂げていくため、『戦略プラン』では、重点政策として「文化」「健康」「都市再生」「環境」を位置づけ、基本的な取組方針を打ち出しています。

区民生活を支える「福祉」「子育て」「教育」そして「安心・安全」は、区政にとって最も基本的な仕事であり、これからも『豊島区基本計画』に基づき、サービスの質的向上に努めていきます。そして、その基本計画に基づくまちづくりを推進し、区政の基本的な使命を果たし続けていくためにこそ、新たな魅力と活力を生み出していくための『戦略プラン』が必要なのです。



豊島区基本構想（平成 15 年 3 月議決）は将来像として、「未来へ ひびきあう 人・まち としま」を掲げています。この将来像に基づき、戦略的なまちづくりの方向性を示すものとして、『戦略プラン』が目指すまちの姿を「文化と品格を誇れる価値あるまち」と設定します。

文化と品格を誇れる価値あるまち



豊島区は高密度で安心快適な都市を目指します

豊島区は、今後、人口減少社会が進むなかでも、都市としての魅力を高め、現在 25.5 万人の人口を、4 年後には 27 万人、10 年後には 28 万人に増やすことを目標とします。

これにより、豊島区は日本で一番人口密度が高い都市となります。そして、こうしたなかでも、土地の高度利用を進めてオープンスペースを生み出すとともに、災害対策を強化することで、人口密度が高くとも、安心快適な都市環境、居住環境を創造します。

また、池袋副都心の再生を進めることで、オフィス機能を回復し、昼間人口についても、4 年後に 42 万人、10 年後には 45 万人を目指します。

人口

・人口減少社会のなかでも定住人口を確保

(10 年後) 概 28 年度 28 万人
(4 年後) 概 22 年度 27 万人
概 18 年度 25.5 万人

人口密度

(10 年後) 概 28 年度 215 人/㎡
(4 年後) 概 22 年度 207 人/㎡
概 18 年度 196 人/㎡

昼間人口

・池袋副都心のオフィス機能を強化

(10 年後) 概 28 年度 45 万人
(4 年後) 概 22 年度 42 万人
概 18 年度 39 万人



豊島区が目指す4年後、10年後の人口像

人口

・人口減少社会のなかでも定住人口を確保

(10年後) 概 28年度 28万人

(4年後) 概 22年度 27万人

概 18年度 25.5万人

人口密度

(10年後) 概 28年度 215人/㎡

(4年後) 概 22年度 207人/㎡

概 18年度 196人/㎡

子どもの人口

・0-14歳の割合(外国人除く)

(10年後) 概 28年度 数・割合を維持

(4年後) 概 22年度 2.2万人 8.5%

概 18年度 2万人 8.4%

高齢者の人口

・65歳以上の割合(外国人除く)

(10年後) 概 28年度 6.2万人 23%

(4年後) 概 22年度 5.2万人 20%

概 18年度 4.8万人 20%

世帯

・世帯規模を維持

(10年後) 概 28年度 15.7万世帯

(4年後) 概 22年度 15.1万世帯

概 18年度 14.3万世帯

ファミリー世帯

・良質な集合住宅の供給促進

(10年後) 概 28年度 3.7万世帯

(4年後) 概 22年度 3.6万世帯

概 18年度 3.3万世帯

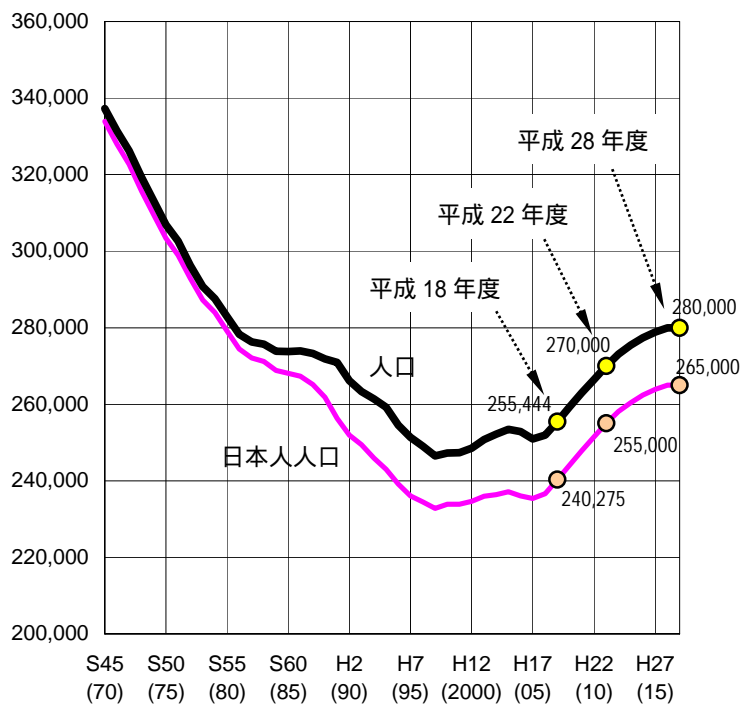
単独世帯

(10年後) 概 28年度 9.5万世帯

(4年後) 概 22年度 9.0万世帯

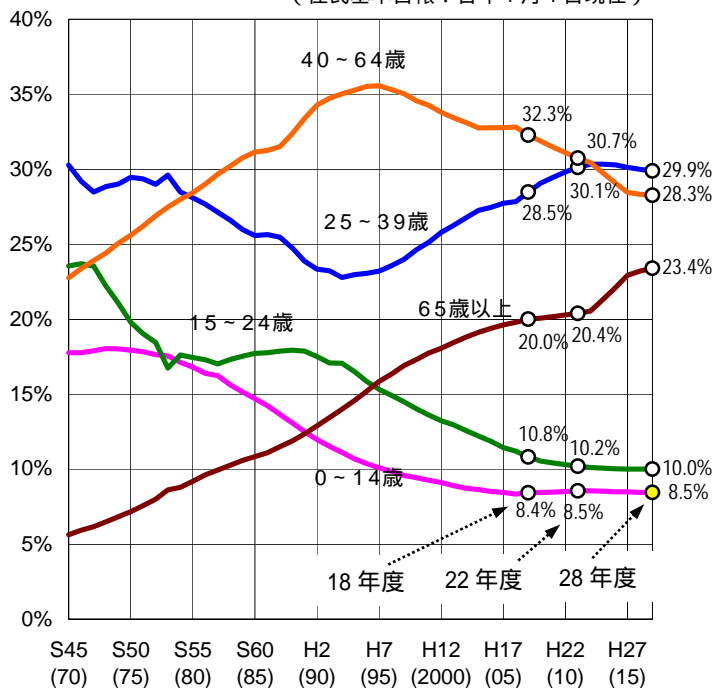
概 18年度 8.5万世帯

人口の推移と推計(目標)



人口の年齢構成の推移と推計(目標)

(住民基本台帳：各年1月1日現在)



3 戦略プランの重点政策

『戦略プラン』の重点政策として、「文化」「健康」「都市再生」「環境」、そして「協働」を位置づけます。

これらは、豊島区基本構想(平成15年3月議決)の将来像である、「未来へ ひびきあう 人・まち としま」に基づくものであり、「文化」と「健康」は“人”に、「都市再生」と「環境」は“まち”に対応します。

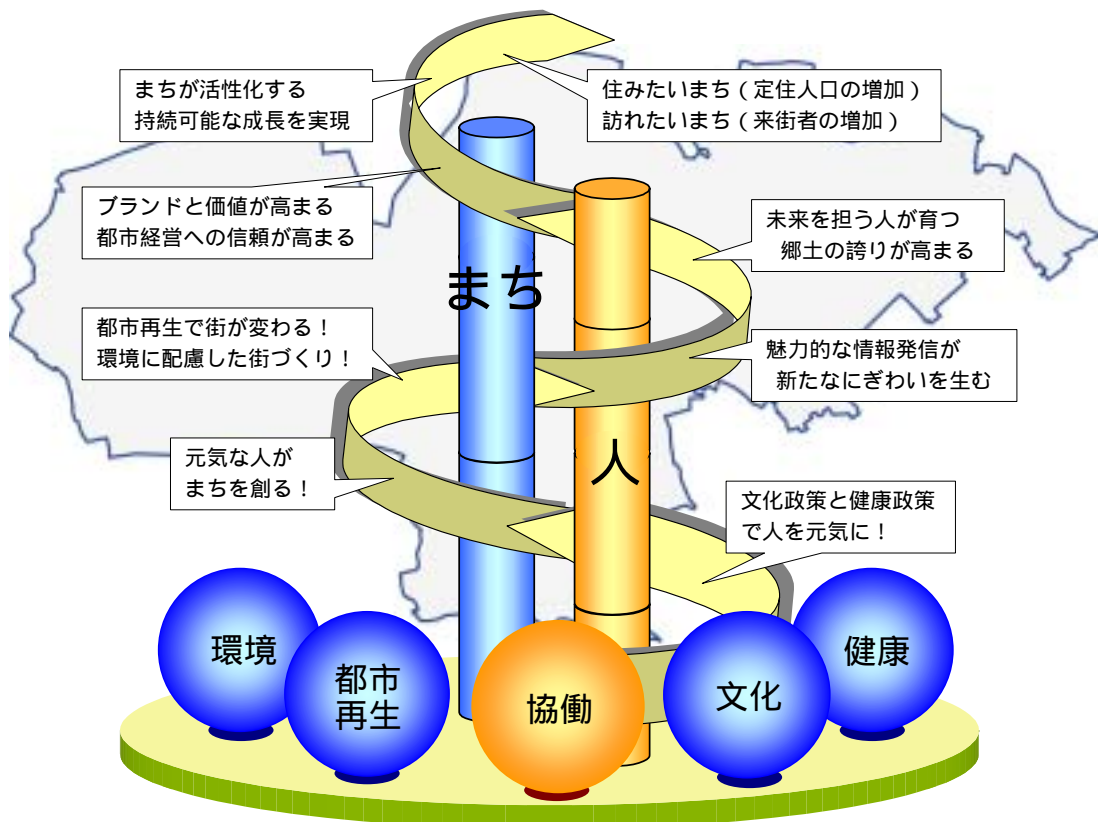
「文化政策」と「健康政策」により、人を元気づけ、元気な人の活動が魅力と活力を創造することで、価値あるまちづくりの進展を促すとともに、池袋副都心の「都市再生」をドラスティックに進めることで、品格ある街並みや魅力ある店舗の誘致を図り、さらに「環境政策」により、人と環境に優しい街づくりを進め、都市としてのイメージを高めていきます。

そして、こうした価値あるまちづくりに取り組むなかで、地域の個性あるにぎわいや多様なコミュニティが育み、未来を担う人を育て、郷土の誇りを高めていきます。

こうした積み重ねを、地域の信頼、そして、地域経済の活性化や税収等の確保にもつなげ、「住みたいまち、訪れたいまち」としての信頼(ブランド)を高めていきます。

地域社会の“公共”を広げる「協働」を基本としつつ、「文化」「健康」「都市再生」「環境」の4つの政策を展開することで、“人”と“まち”の響き合いを興して未来の扉を開くエネルギーを生み出していく好循環を創りあげ、「文化と品格を誇れる価値あるまち」を織り成していきます。

ひびきあう人とまちが、未来の扉を開くエネルギーを生み出し、
「文化と品格を誇れる価値あるまち」を織り成す



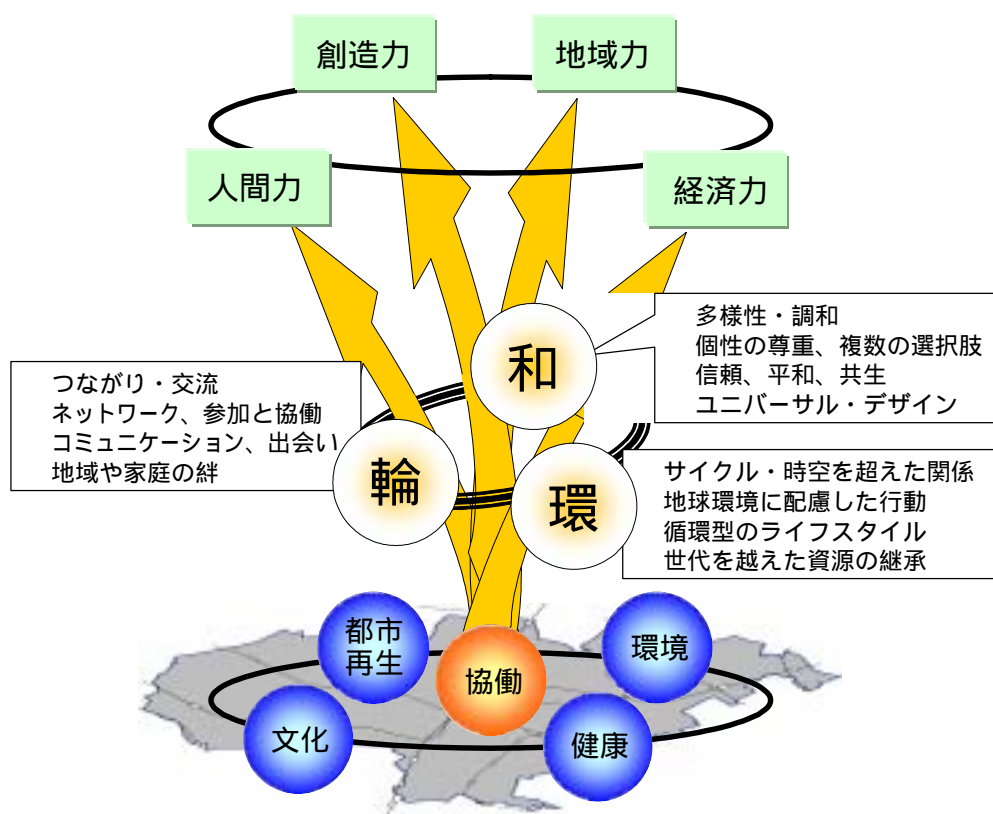
4 協働を基盤とした価値あるまちづくりの展開

「文化と品格を誇れる価値あるまち」を実現していくためには、その推進力として「創造力」「人間力」「地域力」「経済力」の4つの力を生み出し続けていくことが必要です。このエネルギーを生み出すのが「文化」「健康」「都市再生」「環境」の4政策であり、そのエネルギーはひるがえって4政策の推進力ともなるものです。

こうした、未来への扉を開くためのエネルギーをより効果的に生み出していくために、そして地域社会の公共をより豊かなものとしていくために鍵となるのが「協働」です。

『戦略プラン』では、地域の主体による協働、多様な価値観の協働、世代間やグローバルな視点からの協働など、より広い視点から「協働」をとらえ、“和”、“輪”、“環”という3つの“わ”を、まちづくりの視点として大切にしながら、取り組みを進めていきます。

3つの“わ”を大切に！ 未来への扉を開く4つの“力”を創出する

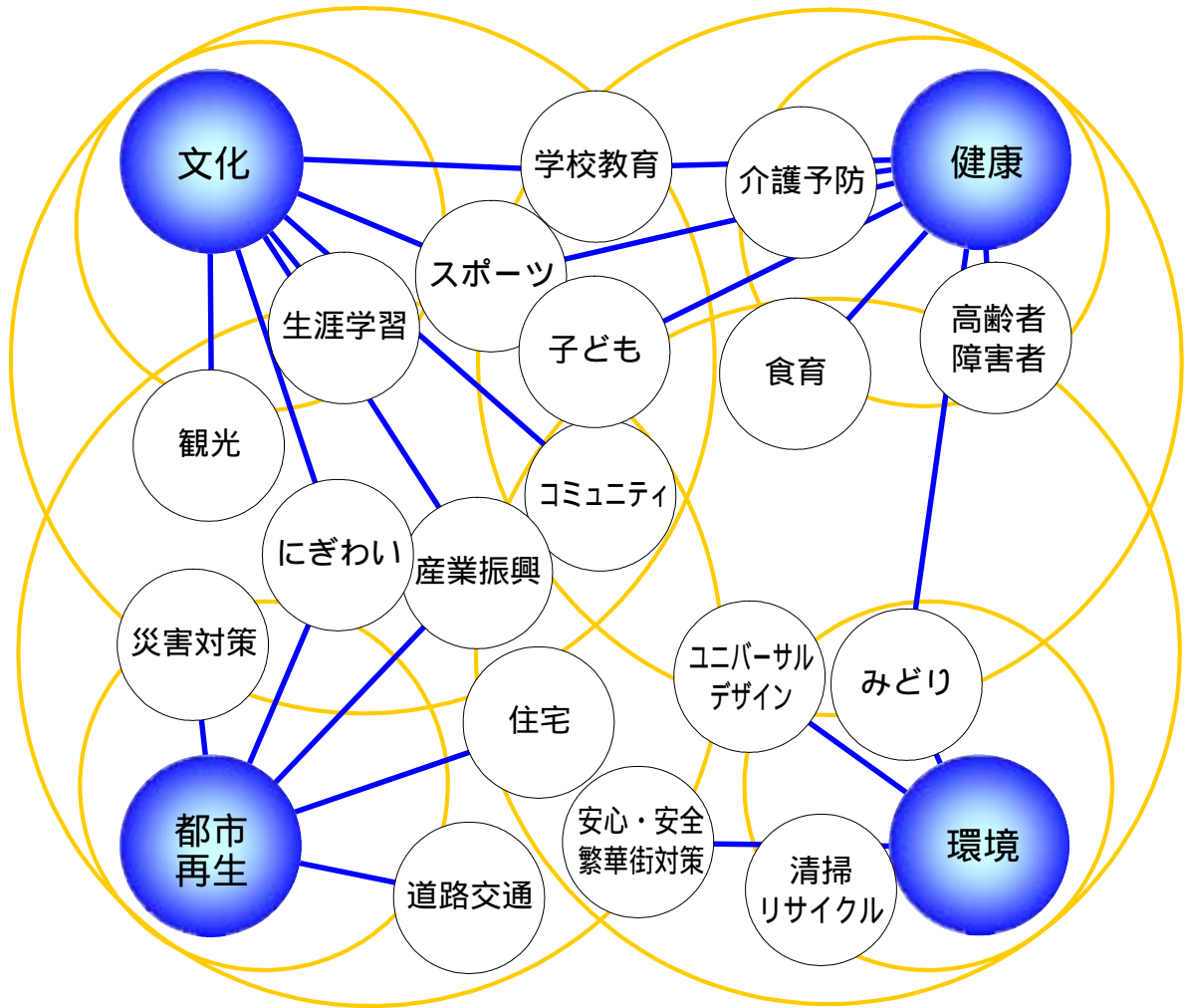


5 横断的・総合的な連携の確保

『戦略プラン』が目指す「価値あるまち」を実現していくためには、分野別の政策をそれぞれに推進していただくだけではなく、新たな魅力と活力の創造に向けて、横断的に政策相互間の連携を進め、相乗効果を発揮させながら総合的な事業展開を図ることが必要です。

「文化」「健康」「都市再生」「環境」の各政策の展開にあたっては、これら4政策を中心として、できる限り様々な政策や施策との連携を検討していきます。

4 政策を中心として、政策・施策相互間の横断的連携を図る



6 戦略プランの構成

『戦略プラン』では、重点政策である「文化」「健康」「都市再生」「環境」ごとに、10年後を目標として設定したまちの姿としての“ビジョン”、そして、ビジョンの実現に向けて重点的に取り組む施策としての“プロジェクト”から構成します。

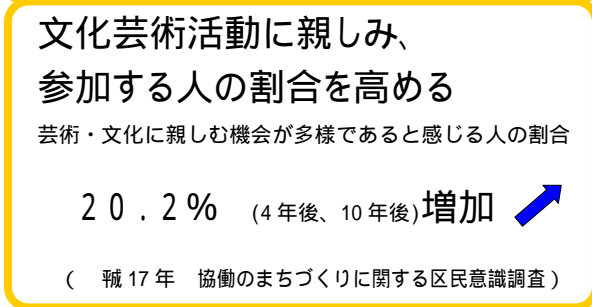
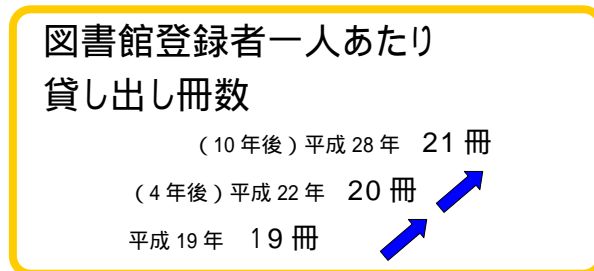
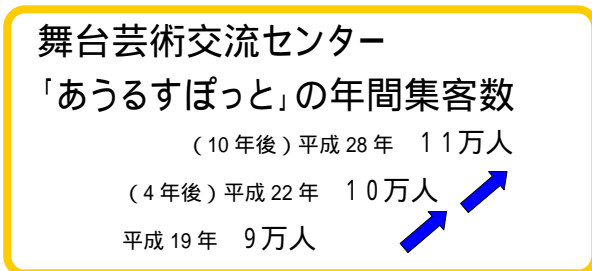
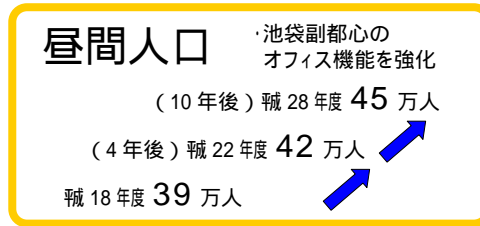
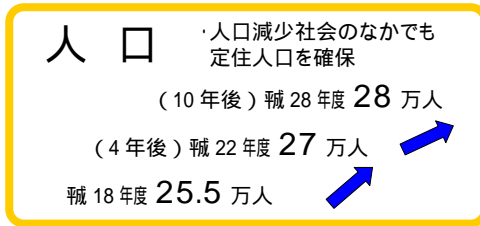
ビジョン..... 10年後を目標として設定したまちの姿

プロジェクト..... ビジョンの実現に向けて、計画期間（4年間）に重点的に取り組む施策

プロジェクトを推進する事業については、重点的に予算を配分するとともに、実施状況を踏まえ、新たに必要な施策を加えるなど、毎年度、ローリングしていきます。

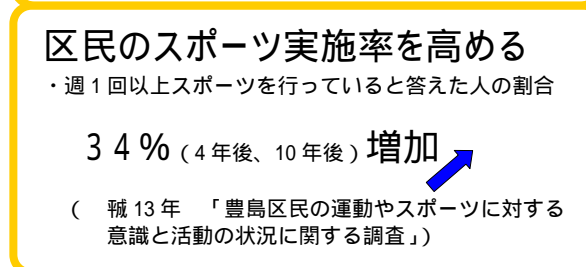
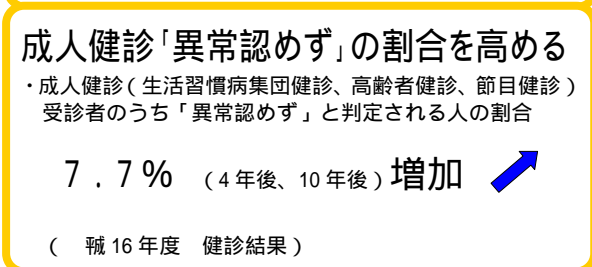
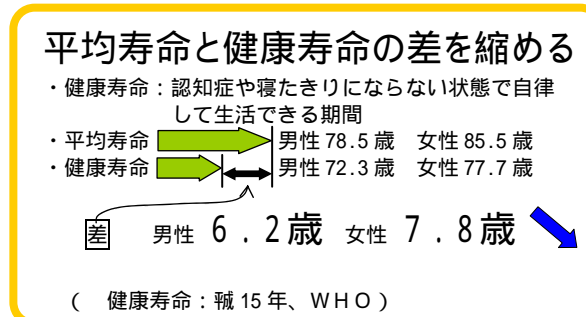
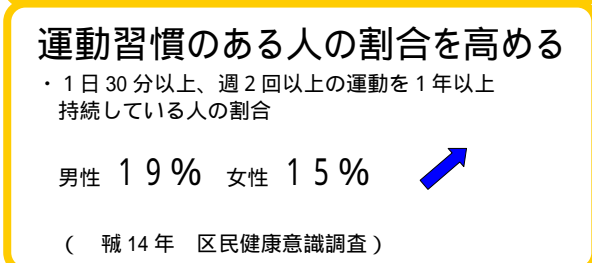
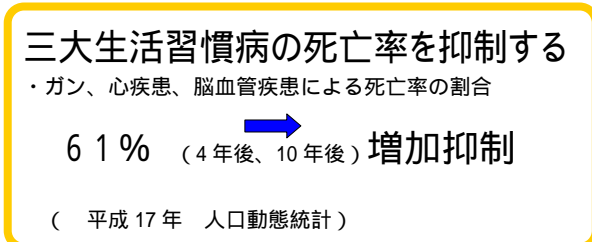
7 ビジョンを明確化する数値目標

10年後に目指すビジョンの姿をより明確に示すため、基本計画の成果指標を中心として、数値目標を設定しました。



地域が協働

将来



池袋駅の日乗降客数を維持する

・JR、西武、東武、東京メトロの日乗降客数

263万7千人 (4年後、10年後) **維持**

(平成15年 東京都統計年鑑)

都市計画道路の整備率を高める

・都市計画決定されている道路延長41.5*[□]のうち、完成した都市計画道路の割合

(10年後) 平成28年度 76.2%

(4年後) 平成22年度 71.4%

平成18年度 58.2% (24.1*[□])

(平成18年度数値は平成17年度未現在)

放置自転車の台数を減らす

・区内駅周辺に放置されている自転車(原付を含む)

平成18年度 7,028台

(4年後) 平成22年度 3,490台

(10年後) 平成28年度 2,000台以下

(平成17年 駅周辺における放置自転車等の実態調査)

地区計画の決定面積の割合を全区の2割以上に高める

(10年後) 平成28年度 20% 261[△]

(4年後) 平成22年度 11% 142[△]

平成18年度 6.8% 88.1[△]

住宅ストックバランスを改善する

・全住宅ストックに占める30㎡未満の割合を減らし、50㎡以上の住宅の割合を増やす

50㎡以上の割合

(10年後) 平成28年度 55%以上

(4年後) 平成22年度 45%以上

平成18年度 30%以上

30㎡未満の割合

平成18年度 37%未満

(4年後) 平成22年度 30%未満

(10年後) 平成28年度 25%未満

(平成15年 住宅・土地統計調査)

事業所数を維持する

20,069件 (4年後、10年後) **維持**

(平成13年 事業所統計調査)

温室効果ガスの排出量を削減する

・区内の二酸化炭素の年間排出量

平成18年度 135万2千トン

(4年後) 平成22年度 129万8千トン

(10年後) 平成28年度 129万8千トン

(平成15年度 地域省エネルギービジョン報告書 : 平成14年度推計値)

まち全体の緑被率を維持する

・区面積に占める樹木、芝、草地に覆われた面積の割合

(10年後) 平成28年度 12.8%

(4年後) 平成22年度 12.4%

平成18年度 12.4%

(平成18年度数値は平成16年度未現在)

して目指す

目標

都市再生

環境

ごみを削減する

・一般廃棄物(可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ)の年間収集量

平成18年度 74,500トン

(4年後) 平成22年度 57,300トン

(10年後) 平成28年度 47,400トン

(平成18年度数値は平成17年度未現在)

資源回収量を増やす

・可燃系資源、不燃系資源の年間回収量

(10年後) 平成28年度 28,200トン

(4年後) 平成22年度 23,700トン

平成18年度 19,288トン

(平成18年度数値は平成17年度未現在)

犯罪発生件数を減らす

・区内の刑法犯罪発生件数

平成18年 9,745件

(4年後) 平成22年 9,300件

(10年後) 平成28年 8,800件

(平成17年 警視庁統計 各年1~12月)



文化を基軸とした池袋副都心の再生戦略

- 人に優しい にぎわいあふれる副都心づくり -

東西の文化軸形成による回遊性向上とにぎわい創出
ユニバーサルデザインによる池袋駅と周辺の再整備
地区計画や再開発等による風格ある街並みの形成
新庁舎整備と現庁舎地の有効活用

ユニバーサルデザイン・・・障害の有無や年齢、性別、国籍にかかわらず、誰もが使いやすい施設、製品、環境等のこと。



癌研跡地
住宅等整備、健康増進施設の誘致

学園通りづくり

帝京平成大学(新ホール)

華街の
心・安全の確保

庁舎周辺の有効活用
新庁舎整備の候補地

東池袋三丁目(住宅整備)

歩行者優先の
東口駅前広場の整備

リバー
化
沿
路
の
整
備

サンシャインシティ(ホール等)

再開発の誘導

造幣局
魅力ある開発の誘導

都電荒川線と連携したLRT構想

グリーン大通りのトランジットモール化

南池袋二丁目市街地再開発
新庁舎整備の候補地

造幣東京博物館

東池袋駅

補助81号線沿道まちづくり

東池袋四丁目市街地再開発(第2地区)

舞台芸術交流センター、新中央図書館

東池袋四丁目市街地再開発(第1地区)

東京音楽大学(新ホール)

化軸

環状5の1号線の整備
地下通過道路の整備
地区計画による街並み誘導

雑司ヶ谷霊園等のみどりを活用した「風とみどりの道」づくり
(冷涼な空気を副都心へ送ることでヒートアイランド対策)

雑司が谷駅



戦略プランの全体構成

4つの政策、10のビジョン、32のプロジェクト

	ビジョン名	プロジェクト名
文化	1 文化の力で 新たな輝きを生み出す まち・としま	1 芸術文化の創造と発信 2 文化創造拠点（アートスペース）の整備 3 伝統文化、地域文化資源の継承と再創生 4 まちの魅力発信によるにぎわいの創出
	2 地域の中で 文化創造の担い手を育てる まち・としま	5 子どもたちの豊かな人間性をはぐくむ 6 多彩な文化活動、生涯学習の推進 7 文化を支え、発展させる人材の育成 8 文化活動推進のネットワークづくり
健康	1 地域ぐるみで 生涯の健康を育む まち・としま	1 健康ライフの創造 2 レッツ・生涯スポーツ 3 体いきいき心うきうきプロジェクト 4 介護予防大作戦
	2 健康危機から 暮らしを守る まち・としま	5 感染症予防・安全な暮らしの確保 6 身近な医療体制の整備
都市再生	1 人に優しい にぎわいあふれる 池袋・副都心	1 新庁舎整備による副都心の再生 2 快適・道路ネットワークの整備 3 歩いて楽しい歩行者中心の街づくり 4 風格ある商業・オフィス街の形成 5 快適・自転車ライフの推進
	2 個性ある 住宅地がひろがる まち・としま	6 魅力ある駅周辺の整備 7 地域ブランド創出プロジェクト 8 こころ和む価値ある住宅市街地づくり
	3 商工のバランスが 活力を生む まち・としま	9 創業起業の環境づくりプロジェクト 10 豊島メッセ構想
環境	1 環境に配慮した 暮らしを創造する まち・としま	1 いきいきエコライフの創造 2 環境と経済の好循環の創出 3 環境配慮型公共施設の整備
	2 “3R”を实践し ごみ半減に 取り組む まち・としま	4 リデュース・リユース運動の展開 5 循環資源活用型地域社会の実現
	3 安全で美しい 都市環境を育む まち・としま	6 みどりをつなぐ環境保全行動の促進 7 ブクロ・リバイバルプロジェクト 8 さわやか歩行者空間づくり